



れんげ畑で遊ぶには、多くの家族連れがレンゲを摘んだり、写真を撮ったりして楽しんでいた

レンゲ満開、春の一日を楽しむ

吉備路れんげまつり

吉備路れんげまつりが4月29日、備中国分寺一帯で開かれ、家族連れらが吉備路の春を満喫していました。

会場周辺の多くの田でレンゲが満開で、紫色のじゅうたんが広がっているようでした。この日の人出は約3万5000人。毎年大人気の「れんげ畑であそぼう」では、花を摘んだり、五重塔をバックに写真を撮ったりする家族連れで終始にぎわっていました。

5月3日には、幻想の響宴が開催され、ライトアップされた備中国分寺五重塔の前で練り広げられた郷土芸能を多くの人が楽しみました。



備中温羅太鼓の演奏とライトアップされた備中国分寺五重塔

本行くんの絵が飛行機に描かれる

空を飛ぶ「夢の乗り物」イラストコンテスト

JAL（日本航空）とジブリのコラボレーション企画「空を飛ぶ。プロジェクト」で、空を飛ぶ「夢の乗り物」イラストコンテストで、本行琢登くん（総社北小学校4年）の作品が、優秀賞に輝きました。

応募総数約1万3400点のなかから、最優秀賞1点と優秀賞6点が選ばれました。優秀賞に輝いた本行くんの作品は、鳥をイメージして描いた乗り物で、3つのプロペラで空を飛ぶというもの。この絵は他の受賞作とともに、JALボーイング787型機の1号機の胴体に宮崎駿氏の空想の乗り物と共に描かれます。

4月17日、日本航空関係者や家族ら約20人が出席し、この賞の授与式が市役所で行われました。本行くんは、「大好きな赤を使って、鳥が飛ぶような感じで描いた。ぼくの絵が飛行機に描かれるのは、とってもうれしい。早く乗ってみたい」と受賞の感想を話しました。



受賞作品とともに、多くのマスコミに笑顔で答える本行くん

おめでとうございます

山辺澄子さん 100歳の祝い

5月6日に満100歳の誕生日を迎えられた山辺澄子さん（真壁）に、5月7日、県と市から記念品が贈られました。

詩吟や俳句、編み物など多くの趣味がある山辺さん。「おめでとう」と声を掛けられるたび、笑顔でこたえていました。長寿の秘訣は、「ハートをひらいて前向きに」という気持ちをもつことだそうです。



片岡市長から「おめでとうございます」と祝福され、にっこりする山辺さん

Photo News



ミニフォト

語り手のネットワーク発足



総会後の発表会で19人が披露

4月29日、生の声で民話や伝承を語る県内の語り手のグループ9団体が中央公民館に集まり、岡山県語りのネットワーク（会長：立石憲利さん）を設立。交流や連携を深め、言葉のコミュニケーションを大切に活動をしていきます。

文化は心の財産



約120人の関係者が集まった

昭和33年5月創立の市文化協会の創立50周年記念式典が4月26日、ウエルサンピア岡山で開かれました。難波聖爾会長が「文化は心の財産。市の文化向上に努力したい」とあいさつ。記念事業としてシンボルマークもできました。

本の世界へいざなう



影絵を楽しむ参加者

子どもの読書週間（4月23日から5月12日まで）の期間中の5月10日、としょかんまつりが市図書館で開かれました。子どもたちは、おはなしを語る会のメンバーが作った影絵や、図書館職員のするエプロンシアターを楽しみました。

眼下に広がる景色を楽しんでね！



新装になった展望デッキ

老朽化していた秋葉山の山頂にある展望デッキにかわり、総社青年会議所から新しい展望デッキが寄贈されました。デッキは、約80㎡の広さ。青年会議所の三島理事長は「市街地を一望できる絶好のビューポイントなので、大いに使ってほしい」と話していました。



みんなでロープを引き、こいのぼりを上げる

すくすく育ってと願いを込めて

見延橋のこいのぼり

4月19日、見延子ども会は岡山自動車道の見延橋へ、こいのぼり23匹をあげました。

今年は10匹のこいが新たに仲間入りし、5月17日までの約1か月間、悠々と泳いでいました。保護者たちは、「すくすく育ってね」と、子どもたちの成長を願いロープを引っ張っていました。